

筑北村 議会だより

第14号

平成20年3月21日発行

編集 筑北村議会だより編集委員
〒399-7601

長野県東筑摩郡筑北村坂北2187番地

電話 0263-66-2211

FAX 0263-66-3656

ホームページ

<http://www.vill.chikuhoku.nagano.jp>

本会議の映像はインターネットの
筑北村ホームページから
御覧になれます。

平成19年12月定例議会

一般質問

12月13日に10名の議員が、一般質問を行いました。

うぐいす亭等の運営について
山崎日出男 議員

質問 うぐいす亭については、村費が平成18年度382万円、平成19年は343万円という様に毎年支出されている。平成19年は、継続中だが係りからの報告では事業収入210万円、支出は460万円、円で内訳は、人件費237万円、飲食材料86万円、光熱水費84万円、円他が支出されている。営業期間は、4月下旬から11月上旬で198日、これだけの経費を投入して利用状況から飲食施設が必要か疑問を感じる。

村長 平成2年にキャンプ場、3

年にうぐいす亭、10年にコテージを建設した。修那羅の石仏群は

観光の目玉として他と連携し誘客を計っている。昨年指定管理者制に移行し運営している。利用人数は、平成18年1784人、コテージ306人、平成19年1401人、コテージ298人と減ってはいるが観光の効果を地域の活性化に続いていきたい。

質問 利用客は、日平均たったの7人で来ない日もあると思う。この他に、草刈り、森林公園等の維持管理もしているが、収支が償えば問題ないが、窓口は坂井支所があるもので、ここでやれば安く出来ると思う。飲食施設は近くに石仏食堂、そば処、冠着荘もあるのにその必要があるのか。中学生の医療費無料化も180万円あれば出来るかと聞いている。この様に見ると浪費的な施設と言える。

村長 見直しは、やぶさかではないが、やすらぎスポーツ広場に

は、750万円が支出されている。
質問 その指摘は当たらない。使用頻度が全然違う。認識を改めてもらいたい。

理事者の期末手当の職務加算廃止と給与の見直し

質問 給与問題は、村長の政治姿勢にも係わる問題。東筑6町村の首長・議員の給与内容と県下81町村の給与他、人口、財政状況まで含めた平成18年4月1日現在の議員報酬等一覧表を見て村長の現給が適正と言えるのか。

村長 これは、三村合併協議会時の報酬審議会で答申されたもので妥当と考える。

質問 この資料を見れば妥当と言える様な数字ではない。内容に入るが、トップが波田町で2番目は筑北村長だ。村長の説明では3千人から6千人未満の県下17町村と旧3村を比較し一番低い旧本城村長の68万5千円を採用し、合理性があるかの様な答申になっている。が実際に17町村を計算してみると、61万1117円となり、諮問はまあよしだと判る。

一方、議員の期末手当の職務加算(割増)は、県下の5町村は廃

止となっているが、内容は佐久穂町、原村、南箕輪村は報酬月額や支給率が多い等の理由で報酬総額は変わりない。但し下伊那2村は廃止されている。

村長 議員の職務加算がないとすれば「議員提案」で4割増の加算を加えたらどうか。

質問 それを言っているのではない。村長も議員と同様職務加算を廃止せよと言っているのだ。長たる村長が先陣を切る。私はこれが大事だと思う。

事務組織の見直しについて
山田一憲 議員

質問 現在の保育園は厚生労働省の所管であり、住民課の所属であるが、近年、次代を担う子供たちの環境づくりを進めるため教育行政と厚生行政が共同で効果的な施策の実現を目指す動きが出ている。保・小連携の観点からも、保育園の組織を新たに教育委員会所属とすることの方が保育・教育両面から見ても機能的と考えるが如何か。

村長 事務組織の見直しについては、庁内で行政組織を含めた中で検討を始めている。保育園は児童福祉施設という観点から住民課と

して位置づけてきた。

時代の移り変わりと共に住民ニーズに応える組織づくりも必要と考えている。保育行政を機能的に進めていくべく、今後教育委員会と検討をしていく。

教育長 大きな問題であり、各関係機関と相談して進めていくのが前提であるが、所管の一本化については定例委員会等でも検討を始めている。子供相談窓口への相談内容からも、就学指導における保・小連携面からも又、家庭教育とも絡まってくるが、必要性は感じている。

本年度に筑北村の教育のあり方検討委員会を立ち上げる予定で準備を進めている。その中で、幼児教育から義務教育までの一貫性についても検討いただくよう考えている。筑北村を担う子供の教育をどうするかを、検討委員会で十分議論していただき、その検討過程でこの重要な議題についても調査研究を進めていきたいと考えている。

ごみの分別について

質問 増え続けるごみの発生を抑制するため、分別回収のシステム

の再構築が求められている。

ごみの減量には、更なる分別の細分化が必要とされる。筑北村としての分別回収の計画についてはどうか。

住民課長 18年度のごみの収集量は、1213tであり内、可燃ごみは52%と半分を占めている。又、本年度の村のごみ処理の費用は6800万円と多額の予算が計上されている。村の分別回収計画では、快適で潤いのある生活環境創造のため、ライフスタイルを見直し、循環型社会の形成を目指す定義づけている。現在20種類の分別を実施しているが、十分徹底されない部分もあり、これらをクリアした段階で次のステップを考えているが、基本的には3年毎の見直しをおこなっている。

なお、昨年8月よりの廃食油回収は、月平均190リットルほど集まっている。今後も皆さんの協力を得ながら推進していきたい。

文書管理について

質問 国を初め、文書管理など公務員としての基本的なことが問題になっているが、管理運営の現況を尋ねたい。

総務課長 文書管理は、管理規則と管理規程により取扱いが定められており、文書事務の手引きを作成し、全職員に周知させている。文書の処理こそが行政人の第一歩であり、あらゆる公務の遂行の基盤は文書事務に熟達することから始まる。村民に迷惑をかけないよう、行政サービスの向上に努めていきたい。

村長の政治姿勢について

久保田義信 議員

質問 関森村政も一期4年の折返し、2年が経過した。公約の「公平で融和の安心と活力ある村づくり」のため、

- 一、一般行財政（人件費の抑制等健全財政）
- 二、福祉（福祉の村、子育てと若者定住）
- 三、公共事業（道路整備、公共施設の維持管理）の推進について課題と今後の抱負は如何か。

村長 旧村の垣根を取り払い、早期融和を図ることが最優先である。

一、筑北村の厳しい財政状況や地域経済を踏まえて、新しい視点に立った不断の行財政改革に取り組み、危機意識と行政改革意欲を職員と共有し山積みする課題解決に当る。

二、平成20年度から施行予定の後期高齢者医療制度や介護保険等の社会保障が増加する。社会福祉協議会等との連絡による生活支援の充実を図りたい。若者定住促進は、子育て支援サービスの充実が欠かせないので村独自の子育て支援手当又、医療給付事業等対応する。

三、公共事業は、村建設計画・過疎計画に沿って地域性、緊急度の高いものから実施する。

公共施設は、建築年度、耐震強度に心がけていきたい。

村の財政は、地方交付税や国の補助金、地方債と大部分が依存財源であり、少子高齢化への対応、雇用問題、地域産業等の活性化等行政課題は山積し、村としては事務事業評価と住民ニーズを的確に把握し既存事業の改善・効率化を図りサービスや事業の重点化に創意と工夫をもって予算執行に当たりたい。

9月定例村議会の検討課題について

質問 9月決算議会は村の行財政を分析し、19年度の方針と平成20

年度の予算編成の基本となる。

一、入湯税（特別会計は公課費により支出）

二、つり銭（歳入歳出外現金で処理）

三、歳計現金の保管（確実かつ有利な方法で保管）以上三点の検討課題を要望したが如何か。

村長 温泉施設特別会計は、入湯税を含む金額を使用料として徴収し調定、入湯税部分は、歳入歳出外現金とし、翌月15日までに告知書により一般会計に納付している。松本地方事務所地域政策課へも照会したが、県内の同種施設は、歳入歳出外現金扱いと公課費による歳計現金で支出する事例とあつて、現在の方法により会計処理することが妥当であると判断する。

質問 つり銭処理は歳入歳出外会計で処理し、一般会計外6会計で、150万円の予算計上は不用品ではないか。

企画財政課長 法令等の中でもつり銭は、明確な条項はないので県とも相談し、23節償還金利子及び割引料で計上、年度内処理している。

会計管理者 歳計現金の保管は、確実かつ有利な保管を検討し、村

長と相談後9月定例終了後に公金を安全かつ効率的な運用で管理している。

質問 入湯税とつり銭扱いについて、話し合いを要望する。

19年度公共事業の進行状況について

前山健治議員

質問 入る前に403号新矢越トンネルの地質調査式が12月7日現地で行われた。期成同盟会長の村長の意気込み又、事務局の建設課等大変ご苦勞願つたわけで、私は一つの成果が上がったのではと感謝をしている。住民の悲願である新矢越トンネル、なお一層のご尽力をお願いしたい。

質問 19年度も後期になり、計画された公共事業等の進行状況と計画した中でまだ未執行事業等について伺う。

村長 事業の進行状況については、今回提出した事業成果書のとおりで、主なものに村道別所線町2号橋の改良工事、村道古司線の改良水道関係で本城地区上手山の送水管の敷設整備事業が多少遅れたが工事に着手している。産業課の関係も、元気づくり交付金事業を計

画し進めている。

20年度の予算編成方針と重点施策について

質問 関連質問に重複しない範囲で村長の考えを伺う。

村長 予算編成と重点施策ということで、村民の行政に対する要望は多様であり、村民の方々が安心して落ちついた生活を営めることを基本として住んでみたくなる村づくりを推進していきたいと思っている。重点事業の細部についてはお答えできる段階ではないが実施している情報化事業が、20年度に完成し使用開始を予定している。又、20年度から後期高齢者医療制度が施行され、保険予防活動に重点を置いて生活習慣病、少子化対策、農業基盤整備等、各種振興施策の詳細を検討して魅力ある村づくりを推進していきたいと思っている。

質問 県で行っている元気づくり支援金で本城地区きささげ荘の増改築が出来ないか、高齢化社会になつていく上で施設等一層充実しなければと思う。なるべく一般財源を少なく補助事業で検討願えればと思うが如何か。

村長 確かに利用する人が多くなり、私も場所を見ているいろいろ検討している。施設の充実のため、県の補助金を入れながら検討してみたいと思っている。

公民館事業について

質問 11月3日・4日と坂北地区において文化祭が行われたが18年度との相違点、20年度に向けての考え方又、成人式の考え方等、今後の方針を伺う。

村長 昨年の反省を踏まえ、特に今年は商工祭との連携もあり大変にぎやかに開催できたのではないかと思っている。大勢の村民の参加となるように努めていく。

成人式については、筑北村となり2年が経過し20年度からは3地域1ヶ所での実施が望ましいと思っている。教育委員会との検討も十分重ねながら筑北村としてあり方を出していきたいと思う。

生涯学習課長 作品の展覧は、前年に比べると24団体ほど増え、作品展示数が1451と大変多く、ステージ発表も12グループあり、来場者も多く商工会との共催による相乗効果もあり好評であったと思っている。

E T Cの導入で経費の削減を

柳澤 忠 議員

質問 NEXCO日本が、E T Cによる高速道の利用を呼びかけている。指定した時間内に入入りすれば半額の料金だ。村の公用車の高速代は莫大な金額になっていく。E T C車にすれば高速道の使用料が削減される。9月議会でも提案した用途に応じた公用車にE T Cをつけて経費の削減を求めよう。

村長 公用車にE T Cを導入して経費の削減を測るようにと9月の定例会でお聞きした。E T C車によって経費が削減できるならと坂北3台、坂井2台、本城2台計7台の車両にE T C車載機を取り付けるため予算化した。E T Cを利用して経費の削減に努めていく。

質問 冠着荘の大型送迎車、教育委員会が使用する村バスにもE T Cを取り付ける事を強く提案する。

冠着荘所長 須坂、塩尻の送迎は、片道で3500円もかかるので村バスを使用する。村バスにもE T Cを付ければ冠着荘の経費も削減できる。

学校教育課長 教育委員会、小・

中学校、生涯学習等で村バスを使用している。E T Cを付ける事によって教育委員会の経費も削減できる。

総務課長 今回、試験的に計画した。今後の経過を見ながらE T Cを増設することも考えている。

質問 各支所の公用車だけでなく、冠着荘、教育委員会の関係も含めて検討はどうか。

村長 経費削減のため、努めていく。

職員に支給している寒冷地手当の見直しについて

質問 公共料金の値上げが目白押しの日、住民は生活にあえいでいる。役場職員は身分が保証され、土・日、祭日が休み。仕事のできばえに関係なく支給される勤勉手当。そして、寒冷地手当の支給、役場職員の優待遇に住民から厳しい目が注がれている。一方で、住民からの要望に、村は財政難でお金が無いとの説明をしている。寒冷地手当は住民に理解が得られない。見直しの考えは無いか。

村長 寒冷地手当は、昭和24年生活費の補てん、という観点から国家公務員に支給されており、地方

公務員も国家公務員に準じて村の条例で定めて支給している。住民から理解が得られると思っている。見直す考えは無いが、近隣町村の動向や職員組合とも協議しながら検討することが肝要だと考えている。

質問 寒冷地手当は、寒風が家の中に吹き込み防寒が出来ない時代に北海道を最初に支給した。人事委員会の説明では、村の財政状況に応じて条例を変えることは問題ないと説明した。県内でも廃止している自治体がある。筑北村の寒冷地手当は11月から3月までの5ヶ月間でその金額も800万円にもなる。職員はくれるものも無い。職員の考えはやめて、村長も職労と協議する事を要望する。

村長 財政状況は、十分承知している。村長としては、職員に対して、くれるものはくれるから、しっかりと働けとの思いがある。理解を願いたい。

教育問題について

滝澤千代江 議員

質問 学習指導要領の改訂など常に方向性の定まらない教育改革、社会や保護者に翻弄される教育現

場を心配している。開かれた学校づくりを目指して、教職員の自己評価の実施と公表が義務化されているがどのような状況か。

教育長 筑北村内は各学校で実施している。各校とも自己評価委員会を設置して、教育目標に基づいて教育活動、学校経営状況等について年間計画に従って、評価した結果の報告を受けている。他に学校関係者評価があり、保護者、教育関係者による評価や児童生徒による評価も含まれている。

質問 新年度からは一般住民も含めた評価委員会の設置が求められているが、どのように対処する考えか。

教育長 改善をしなければならぬ部分を含め、新年度の準備をする中で、筑北村校長会と相談し、より良い方向に向かって改善をしていきたい。

質問 40年振りに実施した全国学力調査と学習と生活習慣状況の結果と公表について、学力調査が格差を広げる結果になり、競争が規制を生み出す状況になるといった、今後の教育現場に様々な課題を残すのではないかと心配されるが如何か。

教育長 報道でも競争をおおるのではと大変問題になっているが十分気をつけている。教育委員会としては、学力については学校名を明らかにしない。

生活習慣については、パーセントが必要であれば発表する。調査対象者は3校で小学校が41人、中学校で35人と母集団が非常に少ないので、地域の傾向を正確に反映しているとは言えない。点数が記録されたものは、番号として送付され、本人との照合は学校で行ない、保護者懇談会の折に個々に説明する。

質問 特に学習状況や生活習慣調査を重視して、学習意欲を引き出すことが大切だと思う。

学習態度がどう学力に影響しているか今回の調査は詳しく分析しているが今後の指導について伺いたい。

教育長 早寝早起き、忘れ物をしない、自分の身の回りのことは自分でする、といった日常の基本的な習慣形成ができています。

学習習慣では、勉強する時間を自分で決めて実行するという事や家庭学習の習慣化では、今一つ工夫が必要かと思う。家庭での生活

時間の配分は個人指導していただく必要があると思っっている。

子供課の設置について

質問 今回の学力、学習状況、生活習慣調査結果を見て、子育てからの生活習慣や家庭教育が、学習状況や学力に大きな影響を与えていると考えられる。子育て支援、児童館、保育園を統括して教育と福祉に連携をとり、教育委員会内に子供課の設置をしたらと考えるが如何か。

教育長 子育て支援と児童館については違う部分もあるかと感じているが、保育園と義務教育を一緒に検討するには、この二施設も当然絡めて検討していくことになると思われる。

教育委員会もこのことについて考えているので、教育のあり方検討委員会で検討していきたい。

村づくりについて

宮澤信雄 議員

質問 村民憲章及び村花・村木・村鳥を村民の心構え及び村づくりのシンボルとして活用することだったが、村民に求め、村民のアンケート調査で決まったものの、

活用がなければ村民の期待に応えられない。活用について伺う。

村長 村民憲章については、村の歩みの中で憲章のような村をつくっていききたい。村花・村木・村鳥は村内の豊かな自然を代表するものであり、自然環境を守り育てていくシンボルとなっている。シンボル等のPRはデザインを決め村内外に周知していきたい。村民の皆さんと住みよい村づくりを進めたい。

質問 活用策は。

村長 役場、公民館は必要だと思う。掲示板の関係もあわせ、方法を検討し進めていきたい。

質問 村として2年であるが、村民に村の満足度調査を実施し、村づくりに生かしていく考えを伺う。

村長 今後の村づくりは、建設計画や過疎計画、本年度からの村総合計画に沿って可能な限り村民の声を聞きながら進めていきたいと考えている。又、建設計画や総合計画は、10年間の計画で前期・後期に分けられている。5年を一つのサイクルと考えると、調査は総合計画の後期、5ヶ年計画する時に実施することが適当と考えてい

る。

質問 村づくりの次へのステップのため、進め方として一考を要望する。

質問 20年度に向けて柱とする課題を伺う。

村長 一番先に筑北は一つ、旧村の垣根を取り払って早期融和を図ることが最優先と考えている。村民の皆さんと共に歩む村づくりを進めていきたい。そして、村の建設計画、総合計画に基づいて事業を進めていきたいと思っっている。大きな柱は、道路の関係で国道403号を一日も早く手をつけてもらうよう国・県に要望していきたい。集落再編の関係も皆さんの理解を得てスタートさせ、村でも一緒になって応援しながら地域を育てていきたい。

結婚相談事業について

質問 結婚相談委員の活動について伺う。

村長 平成18年12月に各地域から2名ずつ6人の方に委嘱をし、10月までに偶数月に相談事業5回、奇数月に委員全体の協議会を7回開催して、結婚相談や情報交換又、ケースの対象などを協議し活動を

行っている。5月には先進地の視察研修をし、結婚推進員のノウハウを研修してきている。

質問 今後の活動・取組みについて伺う。

村長 情報交換やケースの対応、こういう中でどれが一番いいか、相談員の皆さんの頭の痛いところで、たやすい事業ではないので、登録者数を増やせるよう情報収集にも重点を置きながら活動をしていただきたい。

村としても、出来るだけの努力はしていきたい。

組織・機構の見直し 整理について

窪田一昭 議員

質問 本年当初より取り組みをし、集落への説明をしてきた、集落再編成の状況はどうか。

村長 地区組織の再編成は、住民ニーズの多様化、社会環境の変化、筑北村としての新たな地域づくり等に対応するため現行の組織に加えて、新たに区という組織を編成することにより従来からの地域のつながりはそのまま残し、地域の活動の量と質を向上させ、活発で自立した地域組織の構築をしてい

きたいと考えている。現在までの状況については、本城地域では今まで地区での説明会を開催して、地区住民の皆さんからの合意を得ることができ、七つの編成となった。

坂北地域では、区の再編について説明をしたが、1月になったから区の運営委員会、区民総会で協議していくとの事です。坂井地域の場合は、区長、分館長への説明会を必要に応じて地区への住民説明会を12月中に終了したいと考えている。今後の進め方としては、今回の決定事項をそれぞれの地域の皆さんに通知をし、区長を選任していただく事になるが、人選の方法については地区の皆さんの考えで決めていただきたい。

質問 当初の計画によると、地区組織の編成は19年10月をめぐりに20年度予算に関連するのでそれ迄に立ち上げるという事だったが、予算編成に影響は無いのか又、村長は区長の選出方法は区に任せるとの事だが、新しい区についてはアドバイスは必要と考える。

青少年育成会組織の立ち上げについては18年度の重点目標であったと思う。

生涯学習課長 地域行政単位の見

直しに連動して分館組織の再編、分館活動のあり方等について説明してきた。青少年育成については、筑北村の青少年育成連絡協議会を立ち上げ、青少年育成に関する団体と地区育成会の計15名で構成されている。坂北地区は9地区で単

位育成会を組織しているが、本城・坂井地域については単位育成会の組織が無いので育成会としての活動はしていない。

質問 20年度に向けて役場内の機構・組織の見直しの考えはあるか。

村長 合併し2年を経過した中で、発足時の組織・機構について20年度には協議検討を行い、21年度には組織の再編を考えたい。

国道の整備見直しについて

質問 国道403号の整備の推進と国道143号の現況について伺う。

村長 国道403号については、地質調査が実施されることになった。今後は一日も早く工事着工に向けて努力していきたい。

国道143号については、要望活動を松本市が中心になっておこなっているが、特に本年度は優先順位一番で青木峠のトンネ

ルの早期着工を掲げており、一本は、810m、一本は1510mの二本のトンネルで筑北村の大沢地区に一度顔を出し、県道河鹿沢西条停線を結ぶ計画で、松本市、青木村とその関係の同盟会と一緒に進めていきたい。

来年度予算編成について

市川辰男 議員

質問 予算編成に当り、地方交付税が少なくなっていく中、どこに重点を置いて進めようとしているか。

村長 予算編成方針と重点施策は、今進めている光ファイバー、情報化の推進を19年度完成し幹線を引いて20年度には個人の家まで引くと、これが大きな2年またぎの事業になり、大体7億3千万円位、これを2年に分けてやっていくので3億円又、福祉の問題、20年度から後期高齢者医療制度の法律ができてくる。この関係にも力を入れ、保健予防活動に重点を置いてすすめていきたい。

もう一つは、元気づくり交付金に変わる農村漁村活性化プロジェクト支援交付金事業、これらも取り入れながら国・県の補助金等仰

ぎながら進めたい。

質問 なんと言っても人件費の占める割合が大きい。それらの抑制と経費節減に尽きるわけで、そうこうしているうちに3年4年と過ぎていつてしまう。前にもこの質問をしたが、その後の形が見えてこない。見えるものに進めていた
だきたい。

高速情報通信網の整備について

質問 加入利用申し込みの集約結果と今後の進め方について伺う。

企画財政課長 12月12日現在意思表示をいただいたのが1956世帯で申し込み者が1835人、他外国人登録世帯などで頻繁な移動がある方など確認に苦慮している。

今後の進め方は、集約結果に基づいて設計を修正しており、通信系の工事発注を1月中旬に、各家庭への引込み工事部分は、20年度当初に発注できるよう進め、事業への加入を申し込まれた方には、新年度になり申し込みの内容の詳細確認を含めて負担金納入手続き等お知らせ事項についての周知を図っていく。各家庭への工事は、来年8月頃から着手し、12月まで

に終了できるように計画どおり進めていく予定です。

質問 残った家庭のフォローを出来る限り取り込めるよう努めていただきたい。

地区組織再編について

質問 事前打合せ会議、地区組織再編住民説明会、それぞれ随時開催され、10月末までとの事でしたが、その結果を踏まえて今後の対応と方針を伺いたい。

村長 3月の予算編成をし、4月下旬頃、区長会を開いて徹底していきたい。

質問 地域にも各々事情があり、時間があるとかないとかいう問題ではなくて、やはり計画されて、そこに進んできた経緯があるわけで、このことに向けて、早急にその方向づけをお示しいただきたい。

小学校・中学校の統合について

山崎好弘議員

質問 筑北村の宝であります子供達の将来を考え、より良い環境で勉強が出来るよう村の教育のあり方検討委員会の早期立ち上げを要望する。少子高齢化、児童が減少

していく中で、小・中学校の統合は避けて通れないと考える。教科担当、正規職員数の不足、部活動数、生徒間の切磋琢磨、学校運営や教育効果等が心配される。平成19年度本城小学校94人、坂北小学校80人、坂井小学校93人計267名であり、22年度は233名で19年度に対し13%減、平成25年度は202名で25%減少と推定される。中学校の生徒数は、聖南中学校と筑北中学校の坂井地域の生徒数合計で19年度現在134名、25年度で122名と推定される。特に聖南中学校・筑北中学校を合せると210名であり、1学年2学級が可能である。この様な視点から今後の進め方について伺う。

教育長 生徒数が減少していく中で、筑北村の教育のあり方検討委員会を立ち上げ、委員構成は、各保育園、小中学校保護者、教員、学識経験者、一般公募等30名以内で3月上旬に設置したい。

質問 協議を進める中で、村民の同意、PTA、麻績村、麻績村教育委員会との協議も大切と考える。筑北地域の豊かな自然環境の中で、小中一環教育について実施を視野に議論、研究することを提案す

る。小学校1年から中学校3年までの9年間に、子供たちの成長に見合ったカリキュラムができ、筑北地域の特徴ある教育ができる素晴らしい地域ができればと思う。

上田市の菅平小学校・中学校では構造改革特区が認定され、4月より始まるが如何か。

教育長 教育のあり方検討委員会で、幼児から始まって義務教育の終了までの教育をどのようにするかが最大の課題で、提案いただいた、小中一環教育については、当然議題にし、真剣に討議し、平成22年度までに方針をまとめたいと考えている。

村営バス事業について

質問 三地域を結ぶ循環バスの試験運行が、4月23日から5月19日まで行われた。有料運行が5月21日から7月14日まで実施された。その後の経過について伺う。

村長 三地域を結ぶコミニティバスの試験運行を実施し、午前と午後の各一便を運行した。68日間で250名の利用があり、試験運行期間中には、様々な意見が寄せられた。これらの意見や、運行経費又、国や県の支援を検討しながら

新しい路線の検討も行っているが、新しい路線は、三地域を結ぶ路線の車両や運転手の確保又、経費が多くなってしまうことで、現状の路線を延長することで検討を進めている。

質問 交通弱者がいる中で、車両の小型化、タクシー利用による補助、予約による運行、曜日を決めたの運行など検討を要望し、村づくり推進検討委員会を早急に開催し、議論を深め結論を見い出すよう要望する。

臨時議会

平成20年1月22日に、第1回臨時議会が開かれ、条例の一部改正1件、一般会計・とくら温泉施設特別会計・差切峡温泉施設特別会計の補正、地域情報化基盤整備事業通信系設備工事の請負契約が議決されました。

飯綱町バス事業視察について

議会では、1月22日に飯綱町へデマンドバス（予約型乗合バス）事業を視察してきました。飯綱町は牟礼村・三水村が平成17年10月に合併してできた町で、人口は1万3千人、世帯数約4100世

帯で筑北村の約倍の規模です。

町では、昨年10月から、住民に便利な交通システムをと、昼間の路線バスを予約型にすると同時に、自宅から訪問先までをワゴン車で送迎するシステムです。運行時間は、あらかじめ決められており、利用者が都合の良い時間帯のバスを予約できます。

今後、筑北村のバス事業にも、大いに参考になるのではないかと思います。



バス予約システム見学のようす

議会日誌



1月

- 3日 本城・坂北地域成人式
- 6日 筑北村消防団出初式
- 9日 議会運営委員会
議会全員協議会
- 10日 J A松本ハイランド新年祝賀会
- 18日 筑北村社会福祉大会
- 21日 筑北村水田農業推進協議会
松本地域正副議長懇話会
- 22日 第1回臨時議会
視察研修（飯綱町）
- 23日 東筑摩郡町村長・議長懇話会
- 25日 議員研修会
- 28日 商工会講演会・交歓会

2月

- 4日 議会全員協議会
- 5日 社会文教委員会
国保運営協議会
- 6日 安曇野松筑広域環境施設組合議会
- 7日 東筑摩郡町村議長道路特定財源要望
- 13日 温泉施設運営委員会
- 14日 松本広域議会
- 15日 穂高広域議会
- 18日 議会運営委員会
- 21日 松塩筑木曾老人福祉施設組合議会
- 22日 筑北クリーンセンター議会
社会教育委員会
議長・事務局長会議
- 26日 麻績村筑北村中学校組合議会
- 27日 副議長会
- 29日 県議長会定期総会